

組織部報

2014年

5月14日

国労東日本本部

組織部

国労加入を

大胆に訴えよう!

グリーンと鉄産労がイーストユニオンを結成?!

仄間によると、五月二〇日、『JR東日本労働組合』（旧JR東日本ユニオンとジェイアール労組）結成に反発した、旧グリーンユニオンと旧鉄産労の方々がイーストユニオンを結成した模様だ。

国労東日本本部発行の「業務連絡報No. 一一二」でお知らせした内容は以下の通り。

昨年末の12月16日にJR東日本ユニオンとジェイアール労組が、よもやの組織統一の大会をし、新組合『JR東日本労働組合』を旗揚げしました。これを巡っては、上部団体であるJR連合との関係に内部からも異論・反論が有ったように聞こえています。いずれ目に見える形で動くものと思われまます。

産労・鉄労・国労内の一部が離合集散の上にとまった組織でした。

そして、もう一方のジェイアール労組は、表向きJR東労組の正常化を求めて分裂した組織（現在も、リスト裁判としてJR東労組内の革マル裁判問題として継続中）であり、この2組合の統一は、「民主化闘争」で一貫して「JR東労組・革マル」として攻撃してきたJR東日本ユニオンのスタンスからすれば「水と油」であり、なぜ合併なのか誰もが不思議に思う所です。

結成大会で準備委員長が「JR東日本における、JR東労組偏重の労使関係を正しく」と挨拶をしています。「敵の敵は味方」でしか一致できず、組合員不在の

組織統一と言っても過言でもありません。

予想通り、JR東日本労働組合本部方針に反発した組合員が反旗を翻し、新組合を結成した模様だ。

結成した組織は一八〇名程で、委員長は菅野氏（仙台）、副委員長は秋山氏（東京）・飯野氏（仙台）、事務局長は国井氏（新潟）という。

この新組合は、JR連合に加盟申請を行う予定らしい。

今後の動きに注目したい。

何はともあれ、国労拡大は途切れる事無く進んでいる。

情勢に流される事無く、国労加入を、仲間呼びかけよう。